

春蠶は減收豫想

繭價安と時局に伴ふ
勞力不足の影響から

縣統計課が去る六月二十七日午後四時發表した縣下の春蠶豫想收繭高は六月十五日現在の調査にかゝるもので百七十六萬四千八百二十貫(白繭種四十九萬七千八百三十貫、黃繭種百二十六萬六千九百九十貫)となり、前年收繭高二百二萬三千五百五十六貫に比し二十五萬八千三百三十七貫即ち一割二分八厘の減收を見る豫想である。減收豫想を見たのは掃立後は氣候概して適順で桑葉の發育も蠶兒の生育も良好であつたが掃立の際繭價安と時局に伴ひ勞力不足を見越し掃立を手控へた爲である。郡市別は左の如くである。

郡市別	豫想收繭高		前年比 (△印は減)
	白繭	黃繭	
水戸	六、五〇〇	一、三六六	一、四〇六△
東茨城	三、〇九一	一、〇五〇	一、一四一△
西茨城	一、九四四	一、〇五〇	一、〇九四△
那珂	一、八五三	一、〇五〇	一、〇〇三△
久慈	一、六五三	一、〇五〇	一、〇〇三△
多賀	一、六五三	一、〇五〇	一、〇〇三△
合計	一、九八・九	一、六六六	一、三二〇△

馬鈴薯は增收

作付反別も増す

本年六月一日現在に於ける、馬鈴薯の栽培現在面積は一千九百八十八町九段で、前年作付段別に比すれば八十二町五段(零割四分三厘)を増加した。而して之が豫想收穫高は七百三十五萬六千四百九十四貫で、前年收穫高に比し七十萬三千六百六十五貫(零割九分六厘)の增收豫想を見たのは氣候適順、成育良好で病虫害も概して少なかつたのに依るものである。郡市別に示せば次の如し。(對比増減中△印は減)

郡市別	面積	收穫高	前年比
鹿島	三、八八〇	五、九四〇	六、九四〇△
行方	六、六五五	一〇、〇九七	八、〇〇八△
稲敷	九、〇〇〇	一六、〇七四	一六、八四〇△
新治	五、三三三	一〇、九八五	一〇、三三三△
筑波	三、三三三	一〇、四〇〇	一〇、四〇〇△
眞壁	三、三三三	一〇、四〇〇	一〇、四〇〇△
結城	三、三三三	一〇、四〇〇	一〇、四〇〇△
猿島	三、三三三	一〇、四〇〇	一〇、四〇〇△
北相馬	三、三三三	一〇、四〇〇	一〇、四〇〇△
合計	四七、八〇一	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇△

十二年中の 林産統計

造林伐採の成績

人工造林

新植 昭和十二年中に於ける林野新植總面積は千九百二十

郡市別	栽培現在面積		前年作付段別對比	豫想收穫高	前年收穫高對比
	面積	段別對比			
水戸	六、八	一、八三	一、八三	三、〇〇〇	三、〇〇〇
東茨城	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
西茨城	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
那珂	一、八三	一、八三	一、八三	一、〇〇〇	一、〇〇〇
久慈	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
多賀	一、〇八	一、〇八	一、〇八	一、〇〇〇	一、〇〇〇
鹿島	一、〇八	一、〇八	一、〇八	一、〇〇〇	一、〇〇〇
行方	一、〇八	一、〇八	一、〇八	一、〇〇〇	一、〇〇〇
稲敷	一、〇八	一、〇八	一、〇八	一、〇〇〇	一、〇〇〇
新治	一、〇八	一、〇八	一、〇八	一、〇〇〇	一、〇〇〇
筑波	一、〇八	一、〇八	一、〇八	一、〇〇〇	一、〇〇〇
眞壁	一、〇八	一、〇八	一、〇八	一、〇〇〇	一、〇〇〇
結城	一、〇八	一、〇八	一、〇八	一、〇〇〇	一、〇〇〇
猿島	一、〇八	一、〇八	一、〇八	一、〇〇〇	一、〇〇〇
北相馬	一、〇八	一、〇八	一、〇八	一、〇〇〇	一、〇〇〇
合計	一、九八・九	一、九八・九	一、九八・九	一、九八・九	一、九八・九

二町九段で内針葉樹林千五百一町二段、潤葉樹林四百十九町二段、竹林二町五段で、之を前年に對比すれば總面積に於て三百九十二町(二割五分六厘)内針葉樹林に於て三百三十六町九段(二割八分九厘)潤葉樹林に於て五十四町三段(一割四分九厘)竹林に於て八段(四割七分一厘)を各増加した。而して其の新植總本数は六百九十四萬八千四百七本で内針葉樹五百八十三萬四千四百四十二本、潤葉樹百十萬四千七百五十五本、竹林一萬二千八百九十本で、前年に對比すれば總本数に於て百十六萬八千八百本(二割零分二厘)を増加し、之が種類別は針葉樹に於て百六萬三千五百本(二割二分三厘)潤葉樹に於て九萬五千九百六十三本(零割九分五厘)竹林に於て九千三十本(二割七分三厘)を各増加した。尙之を郡別に示せば次の如し。

郡市別	針葉樹			潤葉樹			竹林		
	面積	數量	本	面積	數量	本	面積	數量	本
水戸	三、六	一四三、七〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
東茨城	九、七	三三三、〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
西茨城	一、二	三三三、〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
那珂	一、二	三三三、〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
久慈	一、二	三三三、〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
多賀	一、二	三三三、〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
鹿島	一、二	三三三、〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
行方	一、二	三三三、〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
合計	三三・三	一、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇

稻敷	110.0	410.610	215.5	410.910	1.83.510
新治	9.1	42.740	8.4	17.450	1
筑波	104.3	48.126	1.8	6.800	1
眞壁	13.3	20.700	7.8	3.500	1
結城	4.1	5.100	1	1	1
猿島	3.8	35.500	0.4	2.000	1
北相馬	14.6	13.550	0.5	3.550	1
合計	150.258.343	492.110.475	25.389.0	25.389.0	

補植 昭和十二年中に於ける森林補植總本数は百八十一萬八千六百六十七本で内針葉樹百四十九萬四千三百六十八本、潤葉樹三十二萬三千七百九十九本で之を前年に對比すれば總本數に於て十二萬三千三十八本(零割六分三厘)を減少した、而して之を樹種別に觀れば針葉樹に於て十三萬六十三本(零割八分零厘)を減少し、潤葉樹に於て八千七百二十五本(零割二分八厘)を増加した。尙之を郡市別に示せば次の如し。

郡市別	針葉樹	潤葉樹
水戸	一本	一本
東茨城	二八四、七八五	五九、二三一
西茨城	六二、八六〇	二五、四三〇
那珂	九二、九四〇	四〇、〇一〇
久慈	一二四、六五〇	四二、六五〇
多賀	六九、七六〇	一六、六〇〇

鹿島	110.3	100.0	30.350
行方	176.350	1	3.330
稻敷	87.440	1	1.608
新治	147.830	1	25.490
筑波	88.840	1	9.090
眞壁	46.779	1	5.860
結城	69.190	1	6.450
猿島	32.050	1	9.000
北相馬	7.790	1	8.000
合計	1,494,368	1	323,799

天然造林

昭和十二年中に於ける公私有林野天然造林は總面積二千三百十町八反で、之を樹種別に觀るときは針葉樹林百五十六町五反、潤葉樹林千八百九十六町一段、針澗混淆樹林二百五十八町二反で、前年に對比すれば總面積に於て三百十三町四反(一割一分九厘)を減少した。之を樹種別すれば針葉樹林に於て三町二反(零割二分六厘)潤葉樹林に於て四百七町六反(零割七分七厘)を各減少し、針澗混淆樹林に於ては九十七町四反(六割零分六厘)を増加した。尙之を郡市別に示せば次の如し。

郡市別	針葉樹林		潤葉樹林		針澗混淆樹林		合計
	伐採跡地	無立木地	伐採跡地	無立木地	伐採跡地	無立木地	
水戸	反	反	反	反	反	反	
東茨城	九.五	〇.四	九.九	四.七	〇.六	一.三	
西茨城	三三.〇	〇.七	三.七	一八.九	一.九	三三.八	
那珂	一九.二	1	九.三	二四.四	一.三	二四.七	
久慈	七.九	一.八	七.七	三〇.八	二.五	三三.三	
多賀	七.四	1	七.四	一五.〇	1	二二.〇	
鹿島	二.四	一.〇	二.四	九.〇	〇.三	九.七	
行方	1	1	1	六.五	1	八.六	
稻敷	三.三	1	三.三	八.八	1	一三.四	
新治	一.五	1	一.五	四.一	1	六.七	
筑波	二.六	〇.一	二.七	五.九	1	八.六	
眞壁	〇.五	1	〇.五	七.〇	1	八.五	
結城	1	1	1	七.三	1	九.四	
猿島	〇.二	1	〇.二	七.〇	1	八.三	
北相馬	1	1	1	六.七	1	八.〇	
合計	115.5	40.0	115.5	183.4	37.1	376.0	

公私有林採伐

昭和十二年中に於ける公私有林伐採總面積は五千三百十九町七反で、之を樹種別に觀るときは針葉樹千二百二十四町五反、潤葉樹二百十五町五反、針澗混淆樹百一十二町五反、薪炭材三千

六百二十二町四反、竹林二百四十四町八反で、前年に對比すれば總面積に於て四百七十七町(零割八分二厘)の減少を示した、之が伐採の總価格は四百九十萬八千九百九十九圓にして之を樹種別に觀れば針葉樹に於て二百十八萬千六百六十九圓、潤

